

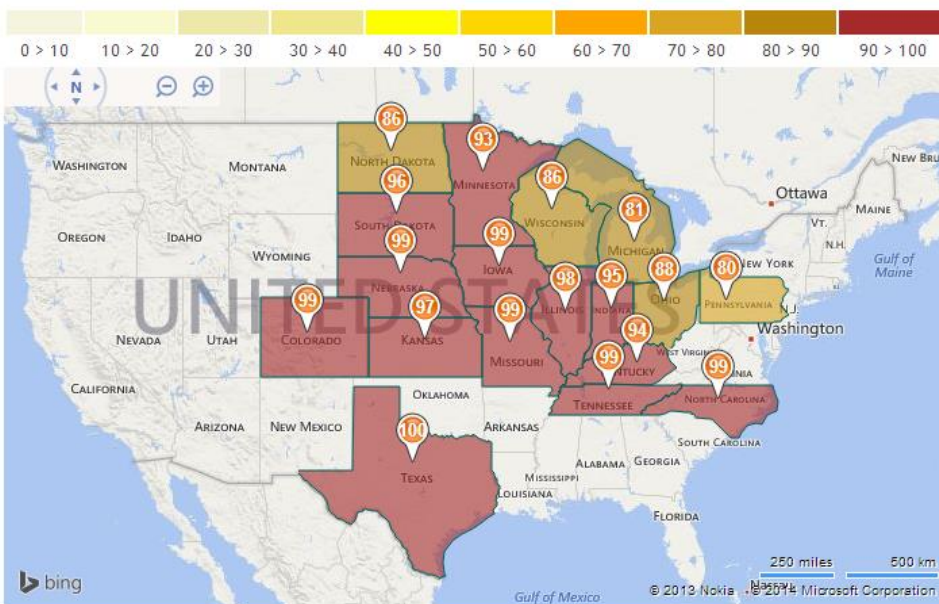
## 気温上昇により米国トウモロコシ作付の遅れを取り戻す

### 本号の内容:

- ページ 2: 北アフリカの輸入
- ページ 3: タンザニアにおける USGC プログラム
- ページ 4: 鉄道遅延

**今**年の春は気温が低く、雨が多かったため、4月から5月上旬にかけて、米国の主要トウモロコシ生産州で作付が遅れていました。しかし、ここ数週間は気温が上昇したため、生産者は遅れを取り戻し、5年平均値に追いつくことができました。最北端にある州の中には依然として気温が上がらず、苦勞を強いられている州もありますが、全体的に米国の作付の進捗状況は回復しています。

米国農務省によると、6月1日現在、トウモロコシ生産トップ18州では作付面積の80%以上、そのうち13州では90%以上の作付が終わっています。現在、米国のトウモロコシ作付面積全体の95%で作付が完了しており、5月初旬時点の29%と比較すると、大幅に改善されました。



出典: AgWeb

この素早い状況の好転は最新技術のお蔭です。

「米国の生産者には最近得た能力があり、短期間で大量のトウモロコシを作付できるようになりました」とネブラスカの生産者デーブ・ニールセン氏は言います。

### 作付最終期に近づく

天候の改善はこのようなほとんどの州にとって一時的ではあっても歓迎すべき救済です。多くの地域の作付最終期は5月下旬から6月中旬になります

それでも、この最終期までに作付を終わらせることが非常に難しい地域もありました。ノースダコタでは気温が低く、雨の多い天候が長引いたため、長期植え付けトウモロコシの最終作付期を逸してしまった生産者もいます。こうした生産者は収量低下が予測される晩播トウモロコシを受け入れるか、大豆を初めとする成熟期間の短い作物に切り替えるかを決めなければならず、厳しい決断に直面しました。

### 依然として良好な収穫が期待される

幸いなことに、こうした問題は米国のトウモロコシ生産地域全体から見ると、一部の地域にしか影響を与えていません。高い単収や生育条件の改善が作付面積の減少を補うと期待されるため、2014/2015年度トウモロコシ予測は依然として良好です。

米国トウモロコシ作付の2ページを参照してください。

## 低価格と良好な関係が北アフリカとエジプトの米国トウモロコシ輸入に結び付く

**価**格低下と、不作の数年間にも維持されたアメリカ穀物協会との強固な関係のお蔭で、北アフリカの主要穀物バイヤーは米国トウモロコシの輸入を再び開始しました。昨年は、実質的に売り上げはありませんでしたが、本市場年度の2013年9月から2014年5月の間に、エジプトやモロッコ、チュニジアは210万メートルトン（8,270万ブッシェル）のトウモロコシを購入しました。

### 記録的価格と輸送メリット

記録的な干ばつに続いて、米国は2012/2013年度、トウモロコシの供給量減少と価格上昇に見舞われました。今年は通常の状態に戻り、価格は黒海や南米のトウモロコシ生産者と競合できるレベルまで低下し、再び多くの輸入業者にとって米国トウモロコシは選択肢のひとつになりました。政情不安によりウクライナのトウモロコシ価格が上昇していることも、北アフリカの穀物バイヤーの決定が米国トウモロコシに戻る要因となりました。

北アフリカ地域の多くが再び米国トウモロコシを購入することになったのは、米国東海岸からの輸送が可能になったからです。（ルイジアナ州ニューオーリンズではなく）バージニア州ノーフォークから出航すると、これまでよりも近いルートでこうした輸入国に輸送することができ、品質が維持され、輸送時間も減少します。

### 関係維持とレベルの高いサービス

しかしながら、価格は米国穀物回帰の決定要因のひとつに過ぎません。この1年間に米国トウモロコシを購入した業者の大半が10年以上の間アメリカ穀物協会のプログラムに参加してきた業者であったことから、長年にわたり醸成された強固な関係があったことも、輸入業者を再び米国トウモロコシに引き寄せた要因と考えられます。エジプトでは今年、米国が提供するサービスと品質が輸入業者を再び米国トウモロコシ購入へと向かわせました。1月から4月の期間、エジプトのバイヤーが購入した輸入トウモロコシ全体のうち、米国トウモロコシは40%を占めており、ウクライナからの輸入が占める割合の43%に迫る2位となりました。



出典：バージニア港

北アフリカ向け米国トウモロコシの3ページを参照してください。

## 米国トウモロコシ作付 ...1ページの続き

「寒い春の期間は、トウモロコシ生育期間としては重要度が最も低い時期です」とイリノイ州メイゾンの生産者ポール・ヤスケ氏は言います。「夏の天候が重要な要因です。6月、7月あるいは8月の気温が高ければ、通常通り収穫できるようになります」

暖かな気候が訪れ、米国の生産者は作付開始の遅れを取り戻し、堅調な2014年トウモロコシ収穫に向けて軌道修正しました。

本年度の米国トウモロコシの作付についての短いYouTubeビデオをご覧になる方は、以下のurlをクリックしてください。

<https://www.youtube.com/watch?v=PEj2JENtgLU&feature=youtu.be> ◆

## 北アフリカ向け米国トウモロコシ …2ページの続き

「エジプトの主要輸入業者、加工業者そして消費者にとって米国トウモロコシは基準となるものとみなされています」とエジプトUSGCのマーケティングマネジャーのヘシャム・ハサネインは言います。「彼らはその品質を好んでおり、ばらつきのなさや確実性、価格付けの仕組みの透明性を信頼していますし、FGIS（連邦穀物検査部）の品質およびグレード保証を信じています。加えて、穀物協会を初めとする米国の通商協会や米国との取引を通じて提供される比類なきサービスも同様に信頼しており、米国のトウモロコシをプレミアム商品とみているのです」

米国トウモロコシの品質情報の提供を絶えず受けることで、顧客は情報を知った上で購買決定を下すことができます。アメリカ穀物協会が発行するトウモロコシ収穫品質レポートやトウモロコシ輸出貨物品質レポートを利用することにより、現地のバイヤーは米国トウモロコシの品質を収穫から出荷に至るまで容易に見極めることができます。

「本年度の米国トウモロコシの品質が非常に優れていることを顧客の皆さんが確実に理解してくれるよう、こうした報告書を用いるとともに、エジプトを含む北アフリカ中の主要顧客に定期的に情報提供しています」と話すのはUSGC中東&アフリカ地域担当ディレクターのケアリー・シファラスです。「そうすることで、間違いなく、バイヤーの方々の米国に対する信頼をある程度まで取り戻すことができましたと思います」

競争力のある価格や品質、顧客に提供するサービスのお蔭で、米国からトウモロコシを購入することが、再び北アフリカとエジプトの穀物輸入業者にとって選択肢の一つになりました。穀物協会は米国トウモロコシのメリットについての情報をこうした国々に提供し続け、長年にわたりこの地域で培ってきた強固な関係を維持することを目指しています。◆

## USGC、家禽業界推進のための タンザニア食料向上プログラムを開始

**家**畜と飼料の改善プログラムを世界中で推進してきたアメリカ穀物協会は、その成功を受けて、この春、タンザニア食料向上プログラムを開始しました。このプログラムには3つの目標があります。

- 家禽用の高品質飼料設計を促進する
- 家禽生産者と飼料メーカーのための自立型業界団体を育成する
- トレーニングセミナーを実施して、ブロイラー（肉用鶏）と産卵鶏（卵用鶏）の生産を改善する

### 飼料品質試験への投資

飼料の質を改善するための取り組みは、現地の政府系飼料品質研究所を最新化することから始めます。飼料に配合される原材料の品質を試験するプロセスを合理化するために、研究所には最新装置が導入されることになります。アメリカ穀物協会は、基盤設備に加え、スタッフによる研究所の運営が可能となるよう、新しい装置や飼料品質活動に関するトレーニングを支援する予定です。4年後には研究所は本格的に稼働し、全域の家禽生産者は自分達の飼料品質に自信が持てるようになるでしょう。

この目標を達成するために、アメリカ穀物協会では4年という期間の中で正式な研究所の立ち上げ・運営計画を策定する目的で、現地のコンサルタントとの共同作業を開始しています。この研究所が完成すると、タンザニア畜産水産省の継続的な支援を受けつつ、自立した組織として運営することができるようになります。

### 業界団体の役割を拡大

業界団体もまた、タンザニアで成長を続ける家禽業界および飼料製造業界で主要な役割を果たすことになります。タンザニア家禽生産者協会とタンザニア飼料製造業者協会は教育的なセミナーやプログラムをメ

ンバーに提供し、地方自治体と協働して、家禽業界および飼料業界に資する方策や規則を推進していきます。

5 ページのタンザニア食料向上を参照してください。

## 鉄道輸送の遅延が北部平原の米国穀物出荷を妨げる

トウモロコシが記録的な豊作であったにもかかわらず、米国の穀物生産者の中には、鉄道遅延のために作物を市場に送り込むことに苦戦している人たちがいます。ノースダコタ、サウスダコタ、モンタナといった州では、生産者は何百万トンもの穀物を前になすすべもなく、1 カ月以上も遅れている貨車が到着し、作物を太平洋岸北西部の穀物エレベーターや港へ輸送してくれるのを待っています。

近隣に商用航行可能な河川がないため、こうした生産者には鉄道輸送に代わる費用対効果の高い輸送手段の選択肢がほとんどありません。しかも、厳冬とエネルギー商品の増加により、影響を受けている地域の鉄道輸送は大幅に遅れています。

### 石油輸送と厳冬による遅延は春になってもなお続く

冬季の大半の期間にわたり、凍てつく気候が鉄道輸送を遅らせ、20 日を超える遅滞の原因となりました。例年以上に暖かい春が到来しても問題は依然として解決せず、多くの場合悪化しました。5 月になり、ノースダコタでは待機期間が 25 日以上となり、ミネソタでは 32 日を超えました。この 2 州を併せると、貨車 1 万台分以上が期日超過となっています。



出典：ロイター/Shannon Stapleton

新たな石油生産も鉄道輸送障害の原因となっています。昨年この地域で鉄道輸送された原油の量は倍増しており、こうした増加分を扱うための新たな基盤設備の建設もほとんど行われていません。石油の漏れや爆発の危険性から走行速度が制限されており、石油の鉄道輸送は輸送速度の低下にも結び付いています。

「天候に恵まれず、原油輸送に関する安全性の懸念もあることから、貨物列車のスピードが 1 年前より落ちています」とサウスダコタトウモロコシ生産者協会のディレクターを務めるグロス氏は米国陸上運輸委員会の会合で話しました。「サウスダコタ最大の鉄道輸送会社である BNSF (Burlington Northern Santa Fe Railway Company) は、この国で知られているうちでは最大の速度低下である 15.1 パーセントを記録しました。このようなスピード低下のため、1 年前と比較して、サウスダコタ穀物の入札競争力が大幅に低下しています」

### 穀物が圃場で積みあがり、生産者の要望が変化

この問題は春が終わるまで長引いたため、穀物の出荷準備が整っている状態のまま予想を超える長期間の保管が続き、必要とされる保管場所の多くを占有しています。3 月上旬、サウスダコタの生産者は各自の圃場の保管場所に前年比 61% 増の 670 万メートルトン (2 億 6,500 万ブッシェル)、圃場外の保管場所に前年比 40% 増の 390 万メートルトン (1 億 5,400 万ブッシェル) のトウモロコシを保管していました。

2014 年冬小麦とトウモロコシの収穫時期もすぐにやってくるため、生産者は圃場に保管している穀物をどうするかを決めなければなりません。貨車の利用が可能な遠隔地の駅まで、鉄道輸送よりも高くつくトラック輸送で運ぼうとする生産者もいれば、春作物を単位収量の低い作物に変更しようとする生産者もいます。生産者は

米国穀物の品質の評判を維持したいと願っており、長期間保存による質の低下もこうした地域の生産者にとって、深刻な懸念となっています。

鉄道輸送の遅れが改善されるのを数か月も待った末、北部平原の生産者は穀物輸送に使える貨車を増やすために鉄道会社が取るべき措置について、業界団体や政府代表者に申し入れを行いました。石油生産の増加に関わる問題は今後も遅滞を更に悪化させ続けることになるため、高品質で信頼性の高い穀物を継続的に顧客に供給できるよう、生産者らは新たな基盤施設への投資を希望しています。◆

## タンザニア食料向上プログラム… 3ページの続き

家禽業界と飼料製造業界双方によりよいサービスを提供するため、ふたつの代表的な業界団体が当地の USGC 職員とコンサルタントによってさらに整備される予定です。これらの団体は、アフリカ、特にモロッコと南アフリカで成功を収めているプログラムを手本にしています。



「我々にはアフリカの他の国々で実施した過去のプロジェクトとのつながりがたくさんあり、タンザニアでは我々の取り組みの例としてそうしたものを利用するつもりです」と USGC 中東 & アフリカ地域担当ディレクターのケアリー・シフェラスは言います。

こうした例に基づいて、10月に開催されるタンザニア家禽エキスポでは、アメリカ穀物協会は業界団体を支援できるよう、これらの団体の会員となることのメリットについての意識向上を図ります。穀物協会は、今後、業界団体をエキスポの主催者とする取り組みを進め、これらの団体がその一年を通してプログラムを継続するために必要な資金を調達することができるようにします。

出典：アメリカ穀物協会

「トレーニング、関係の構築、そして品質の高い試験済み飼料を求める業界に働き掛けていく活動を常に、そして継続的に行えるよう、これらの業界団体を自立的に継続する組織にしていきたいと思います」とシフェラスは述べています。

### 家禽生産改善のための指導法

飼料研究所および業界団体の育成に取り組む一方、アメリカ穀物協会はタンザニア食料向上プログラムの一環として、家禽生産者や飼料製造業者のためのトレーニングセミナーを実施します。6月中旬から開始する予定のこれらのプログラムの目的は、生産者に品質のよい飼料を使用することのメリットを伝え、それぞれの業界のためのベストプラクティスを紹介することです。将来的に会員にトレーニングを継続的に提供できるよう、自立型組織にするという目標の一部として、協会はこうしたセミナーを業界団体と一緒に共催します。

セミナーを通じて、家禽生産者は自分たちの生産活動の改善に役立てるために、飼料給与、養鶏施設、衛生管理等を学ぶこととなります。こうした活動を通じて、アメリカ穀物協会は家禽の品質および安全性に対する消費者の信頼を高め、消費拡大につなげることを目指します。

タンザニアの食料向上プログラムを通じて、アメリカ穀物協会は強固で自立した家禽生産および飼料製造業界を育成したいと考えています。生産者が高品質飼料を最大限に活用することができるよう手助けする政府の飼料品質研究所や発展途上にある業界団体を通じて、品質の良い飼料原材料の使用を確実にすることによって、

アメリカ穀物協会のプログラムは、生産者が経営を改善し、タンザニアの家禽の品質に対する消費者の信頼を高める一助となることでしょう。◆